

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月13日

上場会社名 共同コンピュータホールディングス株式会社
 コード番号 9685 URL <http://www.kvd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 JQ

(氏名) 吉村 昭一
 (氏名) 相原 能文

TEL 0776-34-3512

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	2,500	—	83	—	82	—	20	—
20年3月期第3四半期	2,720	△2.4	170	17.3	167	14.2	137	36.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	4.03	—
20年3月期第3四半期	26.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第3四半期	3,429	—	1,993	—	57.8	387.19	—	
20年3月期	3,410	—	2,040	—	59.4	386.51	—	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 1,980百万円 20年3月期 2,027百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,450	△6.7	130	△29.7	120	△33.3	50	△84.7	9.77

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 5,115,492株 20年3月期 5,689,448株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 1株 20年3月期 443,956株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 5,203,492株 20年3月期第3四半期 5,152,343株

平成20年11月6日付けで発表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、予想に関する事項は、添付3ページをご参照ください。

当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、米国を発端とした世界規模の金融危機の影響により国内景気は急速に減速するなかで、円高の進展、雇用環境の悪化、個人消費の不振などの影響が企業収益を圧迫し、企業のIT投資も縮小、延期などの見直しや価格引下げ要請などが顕著となり、経営環境は一段と厳しさを増してきております。

このような状況下で当社グループは、既存顧客を中心に積極的な営業活動を展開してまいりましたが、当業界を取り巻く外部環境などの影響を受け年初予想を下回りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比8.1%減の25億円となりました。損益につきましては、一部子会社の退職給付費用の増加2千3百万円やシステムエンジニアの稼働率の低下などにより営業利益は前年同期比50.8%減の8千3百万円となり、経常利益も前年同期比50.5%減の8千2百万円となりました。

また、四半期純利益については、上記の要因に加え投資有価証券の減損処理による評価損2千9百万円の発生により前年同期比84.7%減の2千万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、34億2千9百万円となり、前連結会計年度末に比べて1千9百万円の増加となりました。主な要因は、たな卸資産の増加1億2千6百万円、建設仮勘定の増加2億1千6百万円と受取手形及び売掛金の減少1億3千4百万円や現金及び預金の減少9千6百万円などであります。

負債合計は14億3千5百万円となり、前連結会計年度末に比べて6千6百万円の増加となりました。主な要因は、長期借入金の増加1億2百万円と賞与引当金の減少4千4百万円であります。

また、純資産は19億9千3百万円となり、前連結会計年度に比べ4千7百万円の減少となりました。主な要因は、利益剰余金の増加2千万円と自己株式の取得による減少3千8百万円、その他有価証券評価差額金の減少1千6百万円、為替換算調整勘定の減少1千3百万円であります。

また、当第3四半期連結会計期間（平成20年12月）に自己株式の消却を実施しております。

詳細は「(5)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記」の②をご覧ください。

自己資本比率は57.8%であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて9千6百万円減少し、3億1千5百万円となりました。各キャッシュ・フローの増減状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した現金及び現金同等物は6千7百万円となりました。

主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益5千9百万円、減価償却費3千1百万円、売上債権の減少1億3千4百万円やその他負債の増加5千7百万円によるものであります。また、主な減少要因は、たな卸資産の増加1億2千6百万円、賞与引当金の減少4千4百万円や法人税等の支払額3千7百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した現金及び現金同等物は1億8千1百万円となりました。

主な増加要因は、投資有価証券の売却による収入1千8百万円や貸付金の回収による収入3千1百万円によるものであります。また、主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出2億1千6百万円や投資有価証券の取得による支出1千7百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した現金及び現金同等物は3千万円となりました。

増加要因は、短期借入による収入2億9千万円や長期借入による収入2億3千6百万円によるものであります。また、減少要因は、短期借入金の返済による支出が2億9千万円、長期借入金の返済による支出1億6千6百万円及び自己株式の取得による支出3千8百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の見通しにつきましては、引き続き金融資本市場の混乱が予想され実体経済に影響を及ぼしております。また、欧米経済の急激な悪化、円高、株安、雇用関係の悪化や個人消費の低迷などを要因として企業収益は大幅に減少してきており、極めて厳しい景気後退局面が続くものと予想されます。このような事業環境下で、企業のIT投資の抑制はさらに厳しい状況になることが予想されます。

このような外部要因や当第3四半期連結累計期間の実績などを勘案して、平成21年3月期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）の連結業績予想につきましては、以下のとおり修正いたしました。

平成21年3月期通期連結業績予想の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	3,650	170	160	100
今回修正 (B)	3,450	130	120	50
増減額 (A)－(B)	△200	△40	△40	△50
増減額	△5.5%	△23.5%	△25.0%	△50.0%

(注) 上記の予想数値は、平成21年2月12日付「平成21年3月期通期（連結）業績予想の修正に関するお知らせ」で発表したものであります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

第3四半期会計期間の税金費用の計算において、第3四半期会計期間損益計算書の税引前四半期利益に法定実効税率を乗じた税金費用を未払法人税等に計上する簡便的な方法をとっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
(会計基準等の改正に伴う変更)

- ① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- ② 第1四半期連結会計期間よりたな卸資産の評価方法について、「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。なお、この変更による影響額はありません。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	315,443	412,150
受取手形及び売掛金	324,193	458,948
たな卸資産	445,633	318,914
繰延税金資産	264,874	277,280
その他	115,628	74,504
貸倒引当金	△1,266	△1,305
流動資産合計	1,464,508	1,540,494
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	154,257	166,412
土地	1,027,955	1,027,885
その他（純額）	23,423	24,320
建設仮勘定	216,512	0
有形固定資産合計	1,422,148	1,218,618
無形固定資産	38,230	52,002
投資その他の資産		
投資有価証券	195,392	251,206
長期貸付金	75,815	142,799
繰延税金資産	125,178	126,831
その他	132,933	143,821
貸倒引当金	△25,939	△68,450
投資その他の資産合計	503,381	596,208
固定資産合計	1,963,760	1,866,829
繰延資産	1,347	3,273
資産合計	3,429,616	3,410,596
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,117	50,600
短期借入金	262,439	295,352
未払費用	252,768	232,301
未払法人税等	8,217	16,815
賞与引当金	59,368	104,237
その他	112,808	77,451
流動負債合計	733,719	776,757

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
固定負債		
長期借入金	541,399	439,395
長期未払金	25,859	—
繰延税金負債	2,366	15,034
退職給付引当金	130,351	136,202
その他	2,242	2,408
固定負債合計	702,219	593,040
負債合計	1,435,939	1,369,798
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,612,507	1,612,507
資本剰余金	△97,547	48,480
利益剰余金	510,616	489,633
自己株式	—	△107,837
株主資本合計	2,025,576	2,042,782
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,203	24,432
為替換算調整勘定	△53,124	△39,787
評価・換算差額等合計	△44,921	△15,354
少数株主持分	13,022	13,370
純資産合計	1,993,677	2,040,798
負債純資産合計	3,429,616	3,410,596

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	2,500,958
売上原価	2,050,597
売上総利益	450,361
販売費及び一般管理費	366,576
営業利益	83,785
営業外収益	
受取利息	448
受取配当金	2,186
不動産賃貸料	14,108
その他	4,446
営業外収益合計	21,190
営業外費用	
支払利息	11,714
減価償却費	3,262
その他	7,232
営業外費用合計	22,209
経常利益	82,765
特別利益	
投資有価証券売却益	2,606
固定資産受贈益	5,719
特別利益合計	8,326
特別損失	
投資有価証券評価損	29,770
投資有価証券売却損	2
貸倒損失	303
固定資産除却損	74
前期損益修正損	1,500
特別損失合計	31,650
税金等調整前四半期純利益	59,441
法人税、住民税及び事業税	25,759
法人税等調整額	13,046
法人税等合計	38,806
少数株主損失	348
四半期純利益	20,983

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	59,441
減価償却費	31,695
のれん償却額	524
貸倒引当金の増減額（△は減少）	50
株式交付費償却	1,925
受取利息及び受取配当金	△2,635
支払利息	11,714
持分法による投資損益（△は益）	△621
前期損益修正損益（△は益）	1,500
貸倒損失	303
退職給付引当金の増減額（△は減少）	25,898
賞与引当金の増減額（△は減少）	△44,868
固定資産除却損	74
投資有価証券評価損益（△は益）	29,770
投資有価証券売却損益（△は益）	△2,604
固定資産受贈益	△5,719
売上債権の増減額（△は増加）	134,754
たな卸資産の増減額（△は増加）	△126,719
仕入債務の増減額（△は減少）	△21,118
その他の資産の増減額（△は増加）	△38,773
その他の負債の増減額（△は減少）	57,546
小計	112,138
利息及び配当金の受取額	2,635
利息の支払額	△10,321
法人税等の支払額	△37,326
営業活動によるキャッシュ・フロー	67,125
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△800
定期預金の払戻による収入	6,000
有形固定資産の取得による支出	△216,766
投資有価証券の取得による支出	△17,861
投資有価証券の売却による収入	18,624
貸付けによる支出	△2,000
貸付金の回収による収入	31,062
その他の支出	△399
その他の収入	670
投資活動によるキャッシュ・フロー	△181,471
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	290,000
短期借入金の返済による支出	△290,000
長期借入れによる収入	236,000
長期借入金の返済による支出	△166,908
自己株式の取得による支出	△38,190
財務活動によるキャッシュ・フロー	30,901
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13,262
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△96,706
現金及び現金同等物の期首残高	412,150
現金及び現金同等物の四半期末残高	315,443

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

①当社は、市場から以下の自己株式を取得しております。

平成20年9月26日	自己株式	80,000株	23,840,000円
------------	------	---------	-------------

平成20年11月26日	自己株式	50,000株	14,350,000円
-------------	------	---------	-------------

②当社は、平成20年12月18日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、開催日現在所有する自己株式の全てを消却することを決議し、平成20年12月24日付けで以下のとおり自己株式の消却を行っております。

消却した株式の種類	普通株式
消却した株式の総数	573,956株
消却した金額	146,027,978円
消却後の発行済株式総数	5,115,492株

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約)四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
	金 額
I 売上高	2,720,870
II 売上原価	2,187,938
売上総利益	532,932
III 販売費及び一般管理費	362,801
営業利益	170,130
IV 営業外収益	24,110
V 営業外費用	27,177
経常利益	167,063
VI 特別利益	2,753
VII 特別損失	856
税金等調整前四半期純利益	168,961
法人税、住民税及び事業税	49,338
法人税等調整額	△15,608
少数株主損失	2,242
四半期純利益	137,473

(2) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期累計期間の「四半期財務・業績の概況」において、四半期キャッシュ・フロー計算書は開示を省略しております。